

無線LAN親機

WCR-1166DS

エアステーション設定ガイド

buffalo.jp

目次

第1章 はじめに	5
操作方法について.....	5
電波に関する注意.....	5
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意	6
動作環境.....	7
各種ソフトウェアのご紹介.....	8
エアステーション設定ツール(Windows/Mac OS X用).....	8
第2章 本製品の設定画面	9
かんたん設定と詳細設定について.....	9
エアステーション設定ツールのインストール.....	10
設定画面を表示する.....	10
Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合.....	10
Mac OS Xをお使いの場合.....	13
スマートフォン・タブレットをお使いの場合.....	15
かんたん設定画面.....	16
トップ画面.....	16
無線LAN.....	17
AOSS/WPS.....	18
詳細設定画面.....	18
Internet.....	18
PPPoE.....	19
アドレス変換.....	21
LAN.....	21
DHCPリース.....	22

経路情報.....	22
2.4 GHz(11n/g/b)	23
5 GHz(11ac/n/a)	25
WPS.....	27
AOSS	27
MACアクセス制限	28
マルチキャスト制御	29
ファイアウォール.....	30
IPフィルター.....	30
VPNパススルー.....	31
ポート変換.....	31
DMZ	32
UPnP	32
システム設定	33
ログ	34
設定管理/再起動	34
ファームウェア更新	35
システム.....	36
ログ	37
通信パケット	37
診断.....	38

第3章 本製品の各種設定39

無線チャンネルを変更する	39
AOSS接続を解除する	40
他の無線機器から本製品を検索できなくする (ANY接続拒否 設定)	41
アクセスできる端末を制限する (MACアクセス制限)	42
ポートを開放する.....	43

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ 利用するポート番号が分かっている場合	43
利用するポート番号が不明な場合	45
本製品のIPアドレスを変更する	46
Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合	46
Mac OS Xをお使いの場合	49
フレッツ回線向けの設定をする (PPPoEマルチセッション)	52
ルーター機能を停止する	54
本製品のファームウェアバージョンを確認する	54
本製品のファームウェアを更新する	54
自動的に更新する場合	54
手動で更新する場合	55

第4章 各種ソフトウェアの使いかた56

エアステーション設定ツールの使いかた	56
--------------------------	----

第5章 困ったときは57

インターネットにつながらない	57
無線接続が切れる/不安定	58
無線でつながらない	59
AOSSで無線接続できない	60
設定画面が表示できない	60
無線での通信が遅い	61
「ひかりTV」などのサービスを受けられない	61
設定を出荷時の状態に戻したい	61
本製品の電源を切るとループが検知される	62

第6章 付録	63
製品仕様.....	63
端子仕様.....	65
初期設定一覧	65
コントロールパネルの表示方法.....	68
IPアドレスの固定方法.....	68
Windows 10/8.1の場合	68
Windows 7の場合	69
Windows Vistaの場合	70
Mac OS Xの場合	70
著作権・免責事項	71

第1章 はじめに

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- IEEE802.11aのW52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局(免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4 GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・ 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALOサポートセンター」までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)

「無線LANのセキュリティーに関するガイドライン」より

動作環境

対応端末・対応OS

本製品に対応していない機器やOS、ブラウザでご使用の場合、本製品が正常に動作しないなどの問題が発生することがあります。

その場合、当社では動作保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

<無線親機本体との無線接続>

無線LAN機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など

<無線親機の設定変更>

Microsoft Edgeを搭載したWindows 10^{※1}パソコン、
Internet Explorer 11以降を搭載したWindows 8.1^{※1}/7^{※1}パソコン、
Internet Explorer 9以降を搭載したWindows Vista^{※1}パソコン、
Safari 6.0.2以降を搭載したMac OS X(10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10/10.11)、
iOS 5以降のiPod touch / iPhone / iPad、
Android 2.2以降のスマートフォン、タブレット端末
※1 64ビットと32ビットに対応しています。

<エアステーション設定ツール(当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 10(64ビット/32ビット)、Windows 8.1(64ビット/32ビット)、Windows 8(64ビット/32ビット)、
Windows 7(64ビット/32ビット)、Windows Vista(64ビット/32ビット)、
Mac OS X(10.4/10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10/10.11)

各種ソフトウェアのご紹介

エアステーション設定ツール(Windows/Mac OS X用)

エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面をかんたんに表示するためのソフトウェアです。本製品とパソコンを接続してエアステーション設定ツールを実行すると、本製品の設定画面を表示したり、本製品のIPアドレスを変更したりすることができます。



メモ: 本書の手順で各種設定を行うには、エアステーション設定ツールが必要となります。

第2章 本製品の設定画面

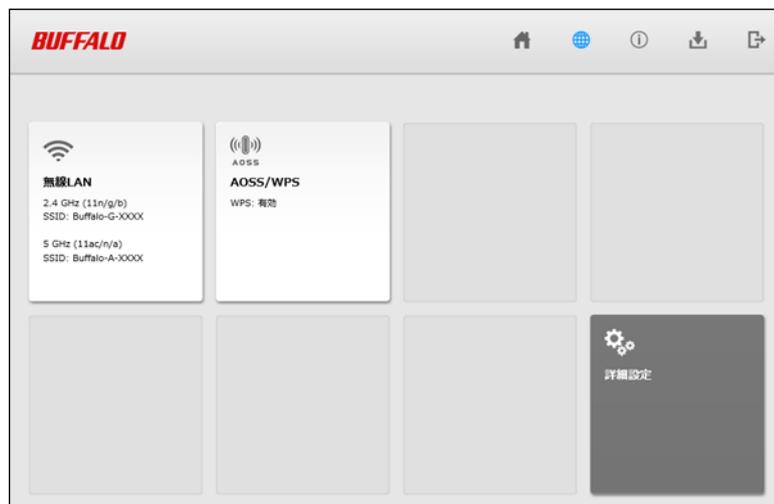
本章では、本製品の設定画面について説明します。

かんたん設定と詳細設定について

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

設定画面は「かんたん設定」と「詳細設定」に分かれており、用途によって使い分けることができます。少ない操作で設定を済ませたい場合は「かんたん設定」を、より高度な設定を行いたい場合は「詳細設定」をご利用ください。

かんたん設定の画面(一例)



詳細設定画面(一例)



エアステーション設定ツールのインストール

以降の手順を行う前に、当社ホームページより「エアステーション設定ツール」をダウンロードしてください。Windowsをお使いの場合は、事前にインストールを行っておいてください。

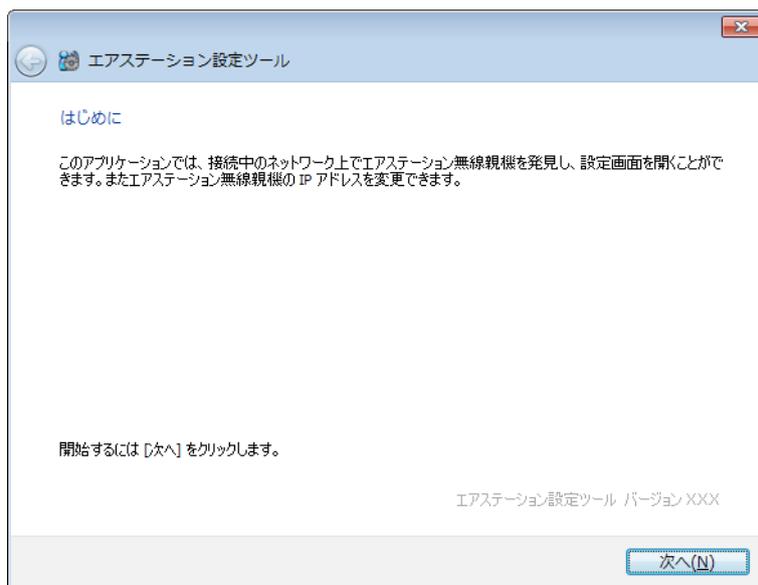
メモ: 最新版のエアステーション設定ツールは、以下のホームページより入手できます。
<http://d.buffalo.jp/wcr-1166ds/>

設定画面を表示する

Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合

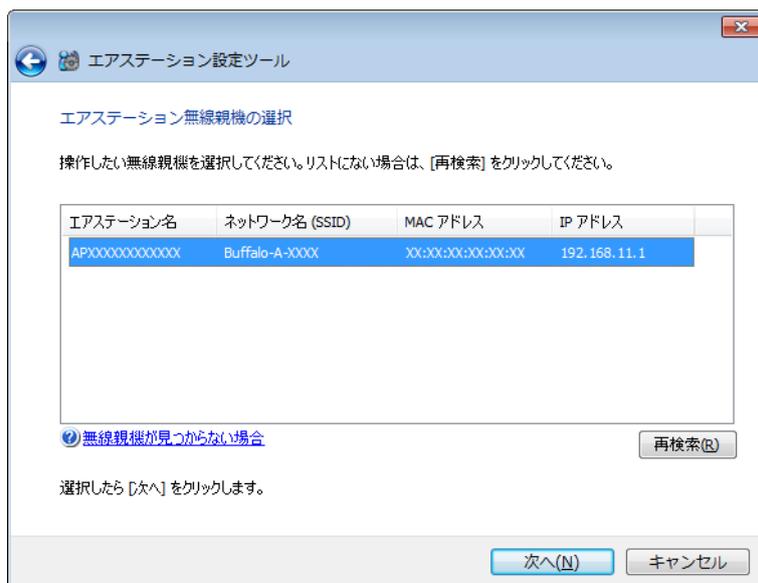
「エアステーション設定ツール」を使って、設定画面を表示します。

- 1 エアステーション設定ツールを起動します。
インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。
- 2 [次へ]をクリックします。



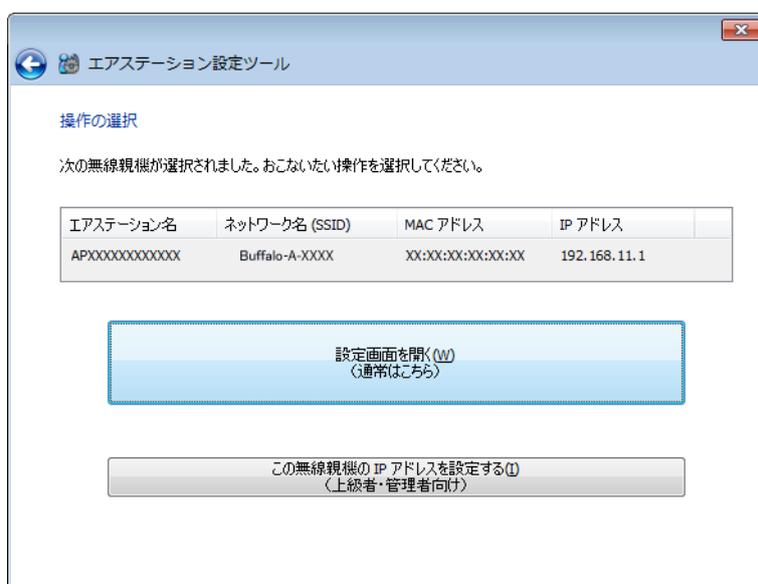
メモ: パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して[次へ]をクリックします。

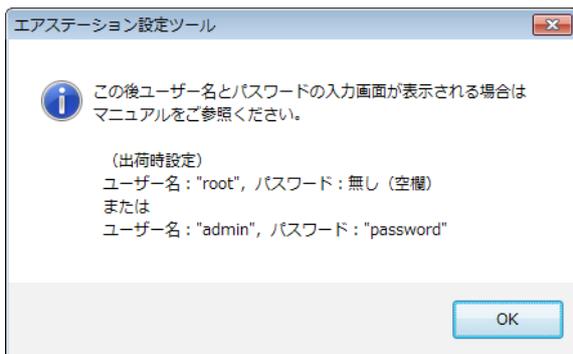


メモ: 本製品のMACアドレスは、本体側面カバー内部のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。



5 [OK]をクリックします。



メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このパソコンのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、「はい」または「続行」をクリックしてください。

6 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[ログイン]をクリックします。(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)



7 本製品の設定画面が表示されます。

メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Mac OS Xをお使いの場合

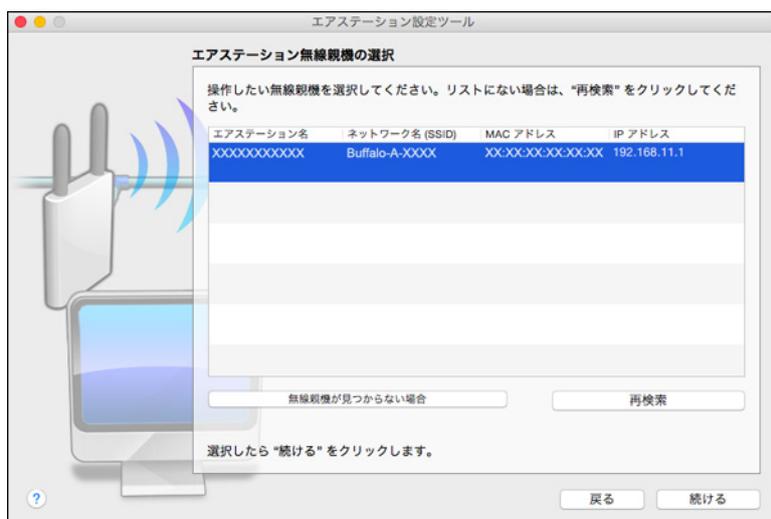
「エアステーション設定ツール」を使って設定画面を表示します。
ここでは、OS X 10.10の場合を例に説明します。

1 エアステーション設定ツールを実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して[続ける]をクリックします。

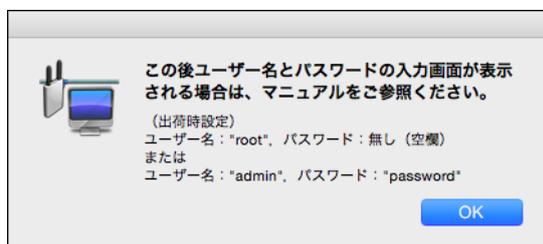


メモ: 本製品のMACアドレスは、本体側面カバー内部のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。



5 [OK]をクリックします。



メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このMacのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。Macのパスワードを要求された場合はパスワードを入力して[OK]をクリックします。しばらくすると本製品に新しいIPアドレスが設定され、「設定完了」画面が表示されます。[親機選択画面に戻る]をクリックし、もう一度手順3から行ってください。

6 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[ログイン]をクリックします。 (パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)

7 本製品の設定画面が表示されます。

メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[終了]をクリックして、画面を閉じてください。

スマートフォン・タブレットをお使いの場合

スマートフォン・タブレットの場合は、専用アプリ「StationRadar」を使用して本製品の設定画面にアクセスします。

メモ: このアプリは、スマートフォンやタブレットを本製品と接続した状態で使用してください。

- 1 AppStoreまたはGoogle Playで「StationRadar」を検索し、StationRadarをインストールします。
- 2 StationRadarを起動すると、自動的に検索が始まります。本製品が見つかったら、本製品の製品名をタップし、「設定画面を開く」をタップします。
- 3 ブラウザーが起動するので、ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、「ログイン」をタップします。
(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)



ユーザー名
admin

パスワード
●●●●●●●●●●●●

モバイル用設定画面

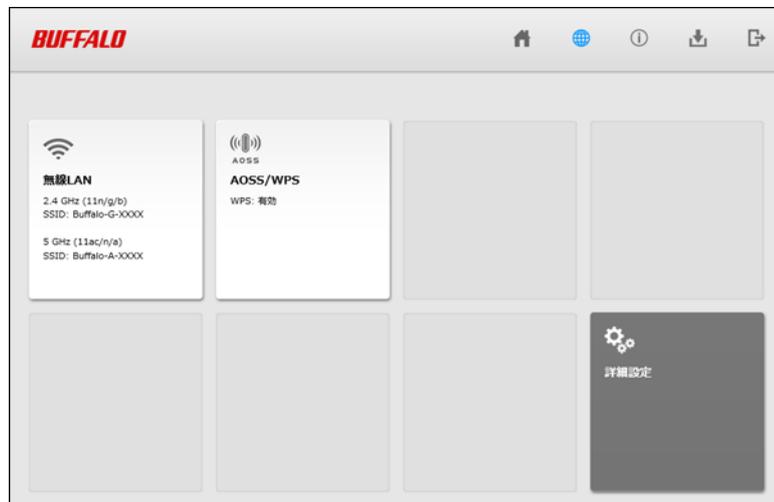
ログイン

- 4 本製品の設定画面が表示されます。

かんたん設定画面

トップ画面

本製品の設定画面にログインした際、最初に表示される画面です。画面の内容は、本製品の動作モードによって異なります。ここでは、ルーターモード時の画面を例に説明します。



項目	内容
無線LAN	現在の無線LANの状態が表示されます。 パネルをクリックすると、無線LANの設定画面が表示されます。
AOSS/WPS	現在のAOSS/WPS設定の状態が表示されます。 パネルをクリックすると、本製品がAOSS/WPS待ち受け状態になります。
詳細設定	パネルをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。
	クリックすると、トップ画面が表示されます。
	ルーターモード時のみ表示されます。インターネットへの接続状況を表示します。インターネットに接続できていないとき( が表示されているとき)にクリックすると、インターネット接続の初期設定画面が表示されます。
	ファームウェアの更新がある場合などに点滅してお知らせします。クリックすると、本製品の動作モードが表示されます。
	インターネットに接続しているときにクリックすると、取扱説明書やソフトウェアなどのダウンロードページが表示されます。
	設定画面からログアウトします。

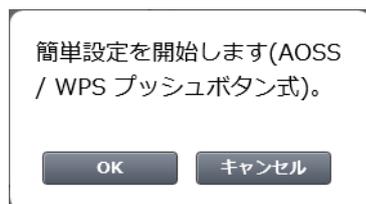
無線LAN

無線LANの基本設定を行う画面です。

項目	内容
	詳細設定画面を表示します。
2.4 GHz (11n/g/b) 5 GHz (11ac/n/a)	無線の有効/無効を設定します。
SSID 1	SSIDを入力します。(半角英数字または記号で32文字まで)
暗号化モード	<p>端末との接続の際の暗号化モードを以下から選択します。</p> <p>WPA2-PSK AES WPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行い、暗号化方式にAESを使用します。</p> <p>WPA-PSK AES WPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行い、暗号化方式にAESを使用します。</p> <p>WPA/WPA2-mixed PSK TKIP+AES WPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの認証も同時に行い、暗号化方式にTKIPまたはAESを使用します。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでの使用は避けてください。</p>
暗号化キー	<p>端末との認証で使用する暗号化キーを入力します。</p> <p>文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると、電波混雑防止機能により自動的に最適なチャンネルが設定されます。手動でチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
帯域	無線で使用する帯域幅を設定します。帯域幅を大きくすると、通信速度の向上が見込めますが、周囲の電波状況が悪い場合は、効果が得られないことがあります。

AOSS/WPS

パネルをクリックした際に以下の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、本製品がAOSS/WPS待ち受け状態になります。



詳細設定画面

Internet

インターネット側ポートの設定を行う画面です。

Internet > Internet (ルーターモード時のみ)

IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> インターネット@スタートを行う <input type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 <input type="radio"/> PPPoEクライアント機能を使用する <input type="radio"/> 手動設定
	IPアドレス <input type="text"/> サブネットマスク 255.255.255.0
※PPPoE接続先の設定は Internet - PPPoEで行ってください	
【拡張設定】	
デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: <input type="text"/> セカンダリー: <input type="text"/>
Internet側MACアドレス	<input checked="" type="radio"/> デフォルトのMACアドレスを使用(XXXXXXXXXXXX) <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/>
Internet側MTU値	1500 バイト

項目	内容
IPアドレス取得方法	インターネット側のIPアドレスの取得方法を指定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。
Internet側MACアドレス	インターネット側インターフェースのMACアドレスを設定します。 メモ: 不適切なMACアドレスを設定すると、本製品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。この設定は、お客様の責任において行ってください。
Internet側MTU値	インターネット側インターフェース(Internetポート)で通信を行うときに使用するMTU値を578~1500バイトの範囲で設定します。

PPPoE

PPPoEに関する設定を行う画面です。

Internet > PPPoE(ルーターモード時のみ)

デフォルトの接続先 1: Internet@Start

PPPoE接続先リスト

接続先No.	名称	状態
1	Internet@Start	有効

接続先の編集

接続先経路の表示

Nb.	接続先	宛先アドレス	送信元アドレス
接続経路は登録されていません			

接続先経路の編集

項目	内容
デフォルトの接続先	PPPoE接続先リストで複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoEの接続先経路設定を別途行う必要があります。
PPPoE接続先リスト	PPPoEの接続先の編集ができます。最大5セッションまで登録可能です。
接続先の編集	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

項目	内容
PPPoE接続先リスト	<p>[接続先の編集]をクリックすると表示されます。</p> <p>接続先名称 接続先を識別するための名称を32文字までの半角英数字記号で入力します。</p> <p>接続先ユーザー名 PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のユーザー名を64文字までの半角英数字記号で設定します。</p> <p>接続先パスワード PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のパスワードを64文字までの半角英数字記号で設定します。</p> <p>サービス名 プロバイダーからサービス名の指定がある場合のみ64文字までの半角英数字記号で設定します。 プロバイダーから指定されなければ、空欄のままにします。</p> <p>接続方法 本製品がプロバイダーに接続するタイミングを指定します。</p> <p>自動切断 接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0～1440分の範囲で設定します。</p> <p>認証方法 プロバイダーとの認証方法を設定します。</p> <p>MTU値 PPPoE上で、通信を行うときに使用するMTU値を578～1492バイトの範囲で設定します。</p> <p>MRU値 PPPoE上で通信を行うときに使用するMRU値を578～1492バイトの範囲で設定します。</p> <p>キープアライブ 有効にすると、本製品はPPPoEサーバーとの接続を維持するために、LCPエコーリクエストを1分に1度発行します。このとき、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁にPPPoE接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、無効に設定してください。</p>
接続先経路の表示	接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。
接続先経路の編集	クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。
接続先経路の新規追加	<p>[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。</p> <p>接続先 「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合にPPPoE接続を行う接続先です。PPPoE接続先リストに登録されている接続先から選択します。</p> <p>宛先アドレス 通信の宛先アドレスです。このアドレス宛てへ通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。</p> <p>送信元アドレス 通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。</p>

アドレス変換

アドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

Internet > アドレス変換(ルーターモード時のみ)

アドレス変換 使用する

項目	内容
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。

LAN

LAN側ポートの設定を行う画面です。

LAN > LAN

LAN側IPアドレス	IPアドレス <input type="text" value="192.168.11.1"/>
	サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
割り当てIPアドレス	<input type="text" value="192.168.11.2"/> から <input type="text" value="64"/> 台
	除外IPアドレス: <input type="text"/>
DHCPサーバー設定 [拡張設定]	
拡張設定	<input type="checkbox"/> 表示する

項目	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー (IPアドレス自動割り当て) 機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。
拡張設定	「表示する」を選択すると、DHCPサーバーの拡張設定項目が表示されます。
リース期間	DHCPサーバー機能で割り当てたIPアドレスの有効期間を設定します。
デフォルトゲートウェイの通知	DHCPサーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
WINSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するWINSサーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名の通知	DHCPサーバー機能で通知するドメイン名を設定します。

DHCPリース

DHCPリースに関する設定を行う画面です。

LAN > DHCPリース(ルーターモード時のみ)

リース情報				
IPアドレス	MACアドレス	リース期限	状態	操作
リース情報はありません				
(*) 設定画面を表示している機器のIPアドレス(192.168.11.5)				
<input type="button" value="リース情報の追加"/>				
<input type="button" value="現在の状態を表示"/>				

項目	内容
リース情報	現在のリース情報が表示されます。 自動リースされたIPアドレスは、[手動割当に変更]をクリックすると、手動リースに変更することができます。
[リース情報の追加]	クリックすると、リース情報の追加画面が表示されます。
リース情報の新規追加	[リース情報の追加]をクリックすると表示されます。 IPアドレス 手動リースするIPアドレスを入力します。本製品のLANポートのネットワークアドレスに含まれないIPアドレスを設定することはできません。 MACアドレス 端末を識別するMACアドレスを入力します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。

LAN > 経路情報

経路情報				
宛先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	操作
経路情報はありません				
<input type="button" value="新規追加"/>				

項目	内容
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。
[新規追加]	クリックすると、経路情報の追加画面が表示されます。
経路の新規追加	[新規追加]をクリックすると表示されます。 宛先アドレス ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを設定します。 ゲートウェイ ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定します。 メトリック ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルーター数)を設定します。

2.4 GHz(11n/g/b)

2.4 GHz(11n/g/b)の無線の基本的な設定を行う画面です。

無線設定 > 2.4 GHz(11n/g/b)

[基本設定]	
無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 1)
倍速モード	帯域: 144.4 Mbps (20 MHz) (Current: 20 MHz) 拡張チャンネル: 4
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
SSID1	
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES
WPA-PSK (事前共有キー)	xxxxxxxxxxxx
Key更新間隔	0 分

項目	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。手動でチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
倍速モード	無線通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を300 Mbps (40 MHz)に設定して、拡張チャンネルを設定します。
ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
SSID 1 SSID 2	本製品のメインSSID (SSID 1) とサブSSID (SSID 2) を使用するかどうかを設定します。
SSID	SSIDを入力します。(半角英数字または記号で32文字まで)
無線の認証	SSID 1の認証方式を以下から選択します。 WPA/WPA2 mixedmode-PSK 端末との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-PSK 端末との接続の際にWPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA-PSK 端末との接続の際にWPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 認証を行わない 端末との接続の際に認証を行いません。

項目	内容
無線の暗号化	<p>無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。</p> <p>TKIP/AES mixedmode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>AES 暗号化の方式にAES(強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線LAN端末と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでの使用は避けてください。 SSID 1の無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
WPA-PSK(事前共有キー)	<p>端末との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
Key更新間隔	<p>通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
BSS BasicRateSet	<p>本製品と端末との制御通信フレームの通信速度を設定します。</p>
Multicast Rate	<p>マルチキャストパケットの通信速度を設定します。</p>
802.11nプロテクション	<p>従来規格(11g/11b)の端末が混在している環境でも、コリジョン等によって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。</p>
DTIM Period	<p>端末に通知するビーコン応答間隔(1~255)の設定をします。端末のパワーマネジメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。</p>
送信出力	<p>本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。</p>

5 GHz(11ac/n/a)

5 GHz(11ac/n/a)の無線の基本的な設定を行う画面です。

無線設定 > 5 GHz(11ac/n/a)

[基本設定]	
無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 100) ※DFSありの場合、気象レーダー等を感知すると自動的にチャンネルが変更されます
倍速モード	帯域: 866 Mbps (80 MHz) (Current: 80 MHz)
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
SSID1	
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-A-XXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES
WPA-PSK (事前共有キー)	xxxxxxxxxxxx
Key更新間隔	0 分

項目	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。DFSに対応したチャンネルを選択した場合は、本製品が気象レーダー等を感知すると、自動的にチャンネルが変更されます。 「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。
倍速モード	無線通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を866 Mbps (80 MHz)に設定してください。
ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
SSID 1 SSID 2	本製品のメインSSID (SSID 1) とサブSSID (SSID 2) を使用するかどうかを設定します。
SSID	SSIDを入力します。(半角英数字または記号で32文字まで)
無線の認証	SSID 1の認証方式を以下から選択します。 WPA/WPA2 mixedmode-PSK 端末との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-PSK 端末との接続の際にWPA2 (IEEE802.11i) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA-PSK 端末との接続の際にWPA (Wi-Fi Protected Access) に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 認証を行わない 端末との接続の際に認証を行いません。

項目	内容
無線の暗号化	<p>無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。</p> <p>TKIP/AES mixedmode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>AES 暗号化の方式にAES(強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線LAN端末と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでの使用は避けてください。 SSID 1の無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
WPA-PSK(事前共有キー)	<p>端末との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
Key更新間隔	<p>通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
BSS BasicRateSet	<p>本製品と端末との制御通信フレームの通信速度を設定します。</p>
Multicast Rate	<p>マルチキャストパケットの通信速度を設定します。</p>
802.11nプロテクション	<p>従来規格の端末が混在している環境でも、コリジョン等によって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。</p>
DTIM Period	<p>端末に通知するビーコン応答間隔(1~255)の設定をします。端末のパワーマネジメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。</p>
送信出力	<p>本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。</p>

WPS

WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

無線設定 > WPS

WPS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
外部Registrar	<input checked="" type="checkbox"/> 要求を受け付ける
エアステーションPINコード	30144170 <input type="button" value="PIN生成"/>
EnrolleeのPINコード	<input type="text"/> <input type="button" value="OK"/>
WPS用無線セキュリティ設定	
WPSステータス	configured <input type="button" value="解除"/>
11n/g/b	SSID: Buffalo-G-XXXX セキュリティ: WP A2-PSK AES 暗号鍵: XXXXXXXXXXXXXXX
11ac/n/a	SSID: Buffalo-A-XXXX セキュリティ: WP A2-PSK AES 暗号鍵: XXXXXXXXXXXXXXX

項目	内容
WPS機能	WPS機能を使用するかどうかを設定します。
外部Registrar	WPS機能を使用する際に、外部Registrarからのconfigure要求を受け付けるかどうかを設定します。 AOSS接続を行うと、外部Registrarの要求を受け付けなくなります。
エアステーションPINコード	本製品のPINコードが表示されます。[PIN生成]をクリックすると、新しいPINコードが生成されます。
EnrolleeのPINコード	端末のPINコードを入力して[OK]をクリックすると、本製品の内部Registrarが、そのPINコードを持つ端末からの接続要求を受け付ける状態になります。
WPS用無線セキュリティ設定	本製品のWPS状態と現在設定されているSSID、セキュリティ、暗号化キーが表示されます。

AOSS

AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

無線設定 > AOSS

AOSS動作設定	
AOSS 状態	AOSS 無効
WEPをゲーム専用にする	802.11n/g/b <input type="checkbox"/> 使用する 802.11ac/n/a <input type="checkbox"/> 使用する
本体側AOSSボタン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

項目	内容
AOSS状態	現在のAOSSの状態を表示します。AOSS有効時に、  をクリックすると、AOSS接続が解除されます。 (その際、SSIDや暗号化キーもAOSSを使用する前の値に戻ります)
WEPをゲーム専用にする	設定を有効にすると、本製品にWEPで接続できる端末は、WEPのみをサポートした端末となり、WPA(またはWPA2)とWEPの両方に対応した端末は、WEPでは接続できなくなります。
本体側AOSSボタン	「使用する」のチェックを外した場合は、本製品のAOSSボタンを押してもAOSS接続は実行されず、WPS接続のみが実行されます

項目	内容
AOSS接続先情報	<p>本製品とAOSS接続した端末、および本製品と無線通信中の端末の情報が表示されます。</p> <p>接続先情報 本製品とAOSS接続した端末、および本製品と無線通信中の端末の名称が表示されます。</p> <p>MACアドレス 本製品とAOSS接続した端末、および本製品と無線通信中の端末のMACアドレスが表示されます。</p> <p>対応暗号化方式 本製品とAOSS接続した端末、および本製品と無線通信中の端末の対応可能な暗号化の種類が表示されます。</p> <p>無線 現在、接続している無線方式が表示されます。</p> <p>AOSS AOSSで接続している端末かどうかが表示されます。 [AOSS接続先情報の編集] AOSSで接続している接続先を削除することができます。</p>

MACアクセス制限

端末からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

無線設定 > MACアクセス制限

無線パソコンの接続(11n/g/b)	<input type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続(11ac/n/a)	<input type="checkbox"/> 制限する
登録リスト	
MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	
登録リストの編集	

項目	内容
無線パソコンの接続	端末からの接続を制限するかどうかを設定します。
登録リスト	<p>MACアクセス制限で、接続を許可する端末のMACアドレスが表示されます。 MACアドレスの登録は、[登録リストの編集]をクリックして行います。</p> <p>MACアドレス MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。</p> <p>接続状態 リストに登録した端末が現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。</p>
登録リストの編集	<p>登録したMACアドレスに対して、編集を行うことができます。</p> <p>MACアドレス リストに登録した端末のMACアドレスが表示されます。</p> <p>操作 [修正]をクリックすると、登録したMACアドレスを修正できます。 [削除]をクリックすると、登録したMACアドレスが削除されます。</p>

項目	内容
登録するMACアドレス	接続を許可する端末のMACアドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。
検出された無線パソコン一覧	本製品に無線接続している端末のMACアドレスをリストに登録することができます。 MACアドレス 本製品に無線接続している端末のMACアドレスが表示されます。 操作 [登録]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。[現在の状態を表示]をクリックすると、現在の状態が表示されます。

マルチキャスト制御

無線LANポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。

無線設定 > マルチキャスト制御

Snooping 機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
マルチキャスト Aging Time	300 秒

項目	内容
Snooping機能	IGMPなどのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各ポートへのマルチキャストの転送を抑制することができる、マルチキャストSnooping(スヌーピング)機能を使用するかどうかを設定します。
マルチキャストAging Time	マルチキャストSnooping機能によって学習した情報を保持する時間を1~3600(秒)の範囲で設定します。IGMP/MLDクエリー間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。

ファイアウォール

本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。

セキュリティ > ファイアウォール(ルーターモード時のみ)

有効	簡易ルール	パケット数
<input type="checkbox"/>	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	IDENTの要求を拒否する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	Internet側からのPINGに応答しない	0

項目	内容
ファイアウォール設定	<p>IPv4接続で簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。各フィルターの内容は以下の通りです。</p> <p>NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 有効にすると、インターネット側からLAN側、およびLAN側からインターネット側へのMicrosoftネットワーク共有機能は使用できなくなります。</p> <p>IDENTの要求を拒否する 有効にすると、インターネット側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザ等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定(DMZまたはTCPポート:113)になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。</p> <p>Internet側からのPINGに応答しない 有効にすると、インターネット側からのPINGに応答しなくなります。</p>

IPフィルター

LAN側とインターネット側の間で通過するパケットに関するIPフィルターの編集を行う画面です。

セキュリティ > IPフィルター(ルーターモード時のみ)

IPフィルターの新規追加

動作:

方向:

IPアドレス: 送信元: -> 宛先:

プロトコル: すべて ICMP 任意

TCP/UDP: 任意のTCPポート: [指定の仕方](#)
任意のTCP/UDPポート:

IPフィルター登録情報

動作	方向	送信元アドレス 宛先アドレス	プロトコル	パケット数	操作
IPフィルターは登録されていません					

項目	内容
動作	対象となるパケットの処理方法を指定します。
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。
IPアドレス	対象となるパケットの送信元IPアドレスと宛先IPアドレスを指定します。
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。

項目	内容
IPフィルター登録情報	登録されているIPフィルターを一覧で表示します。

VPNパススルー

フレッツIPv6サービス対応機能、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。

セキュリティ > VPNパススルー(ルーターモード時のみ)

フレッツIPv6サービス対応機能	<input type="checkbox"/> 使用する
PPPoEパススルー機能	<input type="checkbox"/> 使用する
PPTPパススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

項目	内容
フレッツIPv6サービス対応機能	アドレス変換においてフレッツIPv6サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。
PPPoEパススルー機能	PPPoEブリッジ機能を使用するかどうかを設定します。 PPPoEブリッジ機能を使用すると、PPPoEパケットがインターネット-LAN間ですべて通過可能となり、LAN側に接続したパソコンでPPPoEプロトコルを使用してプロバイダーからIPアドレスを自動取得することができるようになります。
PPTPパススルー	アドレス変換において、PPTPパススルー機能を使用するかどうかを設定します。

ポート変換

ポート変換に関する設定を行う画面です。

セキュリティ > ポート変換(ルーターモード時のみ)

ポート変換の新規追加	
グループ	新規追加 <input type="text" value="新規追加"/>
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス <input type="text"/> 手動設定: <input type="text"/>
プロトコル	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> ICMP <input type="radio"/> 任意 <input type="text" value="プロトコル番号"/> <input checked="" type="radio"/> TCP/UDP <input type="text" value="任意のTCPポート"/> <input type="text" value="任意のTCP/UDPポート"/> ▼ 指定の仕方
LAN側IPアドレス	<input type="text" value="192.168.11.5"/>
LAN側ポート	TCP/UDPポート: <input type="text"/>
<input type="button" value="新規追加"/>	
ポート変換登録情報	
グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス
プロトコル	LAN側ポート
操作	
ポート変換設定は登録されていません	

項目	内容
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して新規グループ名を入力すると、新たなグループを作成します。英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

項目	内容
Internet側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するインターネット側(変換前)のIPアドレスを設定します。
プロトコル	ポート変換テーブルに追加するインターネット側(変換前)のプロトコルを設定します。
LAN側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のIPアドレスを設定します。
LAN側ポート	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のポート番号(1～65535)を設定します。
ポート変換登録情報	現在設定されているポート変換テーブルの有効/無効の指定を行います。

DMZ

LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

セキュリティ > DMZ(ルーターモード時のみ)

DMZのアドレス

※設定画面を表示している機器のIPアドレス[192.168.11.5]

項目	内容
DMZのアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先IPアドレスを設定します。 (RIPプロトコル(UDPポート番号520)のパケットは、転送されません)

UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。

セキュリティ > UPnP(ルーターモード時のみ)

UPnP機能 使用する

項目	内容
UPnP機能	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定します。

システム設定

本製品のシステムに関する設定する画面です。

管理 > システム設定

システム情報	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
管理ユーザー名	admin (変更することできません)
管理パスワード	●●●●●●●● <input type="checkbox"/> パスワードを表示する
アクセス	
有効	制限項目
<input type="checkbox"/>	無線LANからの設定を禁止する
	パケット数
	0
<input type="checkbox"/>	有線LANからの設定を禁止する
	0
Internet側リモートアクセス設定	
有効	制限項目
<input type="checkbox"/>	Internet側リモートアクセス設定を許可する
時刻	
NTP機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
サーバー名	ntp.jstmfeed.ad.jp
確認時間	24 時間毎
日付	2016 年 1 月 1 日
時刻	0 時 42 分 11 秒
タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル
現在の時刻を表示 <input type="checkbox"/> 現在アクセス中のパソコンから時刻を取得 <input type="checkbox"/>	

項目	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。
無線LANからの設定を禁止する	本製品に無線接続した端末から本製品の設定をできないようにします。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLANポートに接続された端末から本製品の設定をできないようにします。
Internet側リモートアクセス設定を許可する	インターネットに接続されたネットワーク機器から本製品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。 アクセスを許可する場合は、許可IPアドレスと許可ポートを別途設定します。
NTP機能	NTPサーバーを使って本製品の内部時計を設定するかどうかを指定します。
サーバー名	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1~24時間毎)を設定します。
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。

項目	内容
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

管理 > ログ

syslog設定

ログ情報転送機能 使用する

syslogサーバー

転送するログ情報

<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター
<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPクライアント
<input checked="" type="checkbox"/> ダイナミックDNS	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS
<input checked="" type="checkbox"/> 無線	<input checked="" type="checkbox"/> 認証
<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動
<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク
<input checked="" type="checkbox"/> システム	

[拡張設定]

詳細なログ取得

<input type="checkbox"/> アドレス変換	<input type="checkbox"/> IPフィルター
<input type="checkbox"/> ファイアウォール	<input type="checkbox"/> アクセスフィルター

項目	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
詳細なログ取得	「アドレス変換」、「IPフィルター」、「ファイアウォール」、「アクセスフィルター」に関するログ情報を取得するかどうかを設定します。

設定管理/再起動

本製品の設定の保存、復元や初期化、再起動を行う画面です。

管理 > 設定管理/再起動

設定管理

操作

設定ファイルを保存する

設定ファイルを復元する

設定を初期化する

パスワード

パスワードを使用する

パスワードを表示する

再起動

再起動 エアステーションを再起動します。

項目	内容
操作	<p>操作内容を選択します。</p> <p>設定ファイルを保存する 本製品の設定内容を設定ファイルに保存します。 [設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルをパスワードで暗号化する場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。</p> <p>設定ファイルを復元する 本製品の設定を、設定ファイルから復元します。 「設定ファイル」欄の[ファイルを選択]をクリックして設定ファイルを指定し、[設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。</p> <p>設定を初期化する 本製品の設定を初期化して、再起動します。 [設定操作実行]をクリックしてください。</p>
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

管理 > ファームウェア更新

ファームウェアバージョン	WCR-1166DS Ver.X.XX
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="更新実行"/>	
※ファームウェアは、下のリンクからダウンロードできます。 ファームウェアダウンロードサイト	
[拡張設定]	
	
ファームウェア自動更新機能	<input type="text" value="重要な更新のみ行う"/>
現在時刻	2016年 1月 01日 (金曜日) 00:46 <input type="button" value="現在の状態を表示する"/>
更新時刻	毎日 4:00 - 4:59
<input type="button" value="設定"/>	

項目	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	<p>ファームウェアの更新方法を設定します。</p> <p>ローカルファイル指定 パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。</p> <p>オンラインバージョンアップ インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルをダウンロードして更新を行います。</p>

項目	内容
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。
ファームウェア自動更新機能	<p>ファームウェアの自動更新方法を設定します。</p> <p>重要な更新のみ行う セキュリティに関わる脆弱性の対応など、重要な更新があった場合、ファームウェアを自動的にダウンロードして本製品へ適用します。</p> <p>常に最新版に更新する 本製品の新しいファームウェアがリリースされると、自動的にダウンロードして本製品へ適用します。</p> <p>更新せずに通知のみ行う 新しいファームウェアがリリースされたときに、設定画面に通知します。本製品への適用は行いません。</p> <p>更新しない 新しいファームウェアがリリースされても、設定画面への通知や本製品へ適用は行いません。</p>
現在時刻	現在の時刻が表示されます。
更新時刻	自動更新を行う時間帯を設定します。

システム

本製品の現在の状態が表示されます。

ステータス > システム

製品名	WCR-1166DS Version X.XX (RX.XX/BX.XX-X)	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX	
動作モード	ルーターモード	
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う - PPPoE接続
	接続先	Internet@Start(デフォルト接続先)
	接続状態	通信中
	操作	<input type="button" value="停止"/>
	IPアドレス	XXXXXXXXXXXX
	PPPサーバーIP	XXXXXXXXXXXX
	DNS1(プライマリー)	XXXXXXXXXXXX(自動取得)
	DNS2(セカンダリー)	XXXXXXXXXXXX(自動取得)
	MTU値	1454
	有線リンク	接続
MACアドレス	XXXXXXXXXXXX	
LAN	IPアドレス	192.168.11.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCPサーバー	有効
	MACアドレス	XXXXXXXXXXXX
無線(2.4 GHz)	無線状態	制限なし
	SSID1	Buffab-G-XXXX
	認証方式	WPA2-PSK
	暗号化	AES
	ANY接続	許可する
	無線チャンネル	1(自動設定)
	倍速モード	20 MHz
MACアドレス	XXXXXXXXXXXX	

項目	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エアステーション名	エアステーション名が表示されます。
動作モード	現在の動作モードが表示されます。
Internet	Internetポートの情報が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。
無線 (2.4 GHz)	2.4 GHz帯の無線LANポートの情報が表示されます。

項目	内容
無線 (5 GHz)	5 GHz帯の無線LANポートの情報が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

ステータス > ログ

表示するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター
	<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPoEクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> ダイナミックDNS	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS
	<input checked="" type="checkbox"/> 無線LAN子機	<input checked="" type="checkbox"/> 認証
	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動
	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク
	<input checked="" type="checkbox"/> システム	
	<input type="button" value="表示"/> <input type="button" value="すべて選択"/> <input type="button" value="すべて解除"/>	
	ログ情報 <input type="button" value="ファイル(logfile.log)に保存する"/> <input type="button" value="消去"/>	
日付時刻	種類	ログ内容

項目	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ情報	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

ステータス > 通信パケット

インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	14574	0	16003	0
Internet側有線	460	0	184	0
LAN側無線(802.11n/g/b)	122	13	67	0
LAN側無線(802.11ac/n/a)	0	26	0	0
PPPoE No.1: Internet@Start	59	0	52	0
<input type="button" value="現在の状態を表示"/>				

項目	内容
送信パケット数	インターネット側有線、LAN側有線、PPPoE、LAN側無線に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	インターネット側有線、LAN側有線、PPPoE、LAN側無線から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

ステータス > 診断

宛先アドレス	<input type="text"/>
実行	<input type="button" value="実行"/>
実行結果	
宛先	未入力
実行結果	未実行

項目	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

第3章 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

無線チャンネルを変更する

本製品は、電波混雑防止機能により他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。

その場合は、以下の手順でチャンネルを設定してください。

メモ:

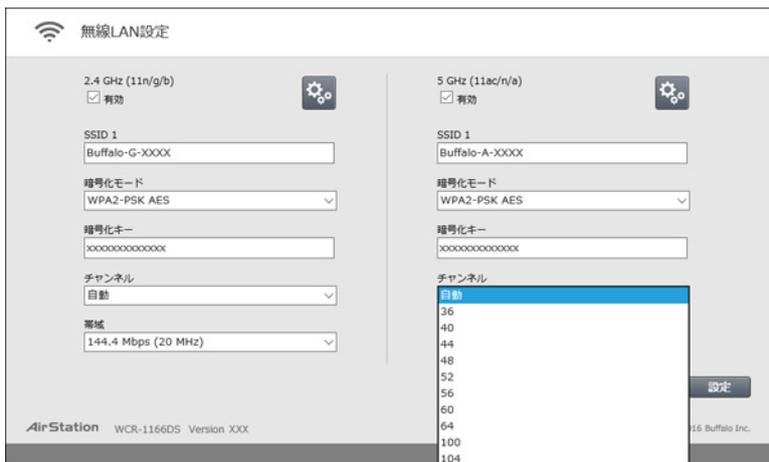
- 設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
- 隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「無線LAN」のパネルをクリックします。



3 無線チャンネルを選択して[設定]をクリックします。



メモ:

- 本設定は無線の周波数帯(2.4 GHzまたは5 GHz)ごとに設定することができます。
- 5 GHzのチャンネルで52チャンネル以上を設定した場合、本製品が気象レーダー等を検知すると、自動的に他の無線チャンネルへ変更されます。その際、1分程度無線通信ができなくなります。
- W52(36/40/44/48チャンネル)およびW53(52/56/60/64チャンネル)は、電波法により屋外で使用することが禁止されています。
- 2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
- 無線で設定を行っている場合、本製品との接続が一時的に切断されますが、しばらくすると自動的に本製品に再接続され通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

AOSS接続を解除する

ANY接続拒否設定やMACアクセス制限の設定を行うには、いったんAOSS接続を以下の手順で解除する必要があります。

AOSS接続を解除すると、本製品のSSIDや暗号化キーは、AOSS接続を行う前の値に戻るとともに、本製品に無線接続していたすべての端末が本製品から切断されます。各端末の取扱説明書を参照して、もう一度端末を本製品に接続してください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「AOSS」をクリックします。

3 AOSS接続解除ボタン  をクリックします。

AOSS動作設定	
AOSS 状態	AOSS 有効 
WEPをゲーム専用にする	802.11ac/n/a <input type="checkbox"/> 使用する 802.11n/g/b <input type="checkbox"/> 使用する
本体側AOSSボタン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

以上で設定は完了です。

他の無線機器から本製品を検索できなくする (ANY接続拒否設定)

本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽されて、他の無線機器から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。

設定は、以下の手順で行います。

メモ:

- AOSSとANY接続拒否設定は同時に使用できません。以下の設定を行う前に、前述の「AOSS接続を解除する」を参照してあらかじめ設定を変更してください。
(以下の設定を行った後にAOSSを使って無線接続すると、ANY接続が「許可する」に設定変更されます)
- 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「2.4 GHz(11n/g/b)」または「詳細設定」-「無線設定」-「5 GHz(11ac/n/a)」をクリックします。

メモ: 本設定は無線の周波数帯(2.4 GHzまたは5 GHz)ごとに設定することができます。

3 ANY接続の「許可する」のチェックを外して「設定」をクリックします。

【基本設定】	
無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 6)
倍速モード	帯域: 288.9 Mbps (20 MHz) (Current: 20 MHz) 拡張チャンネル: 1
ANY接続	<input type="checkbox"/> 許可する

以上で設定は完了です。

アクセスできる端末を制限する (MACアクセス制限)

本製品に接続する端末のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その端末のみ本製品へのアクセスを許可することができます。設定は以下の手順で行います。

メモ: AOSSとMACアクセス制限は同時に使用できません。MACアクセス制限を設定する場合は、前述の「AOSS接続を解除する」を参照して本製品の設定を変更してください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「MACアクセス制限」をクリックします。

3 「登録リストの編集」をクリックします。

無線パソコンの接続(11ac/n/a)	<input type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続(11n/g/b)	<input type="checkbox"/> 制限する

登録リスト

MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	

4 無線で接続できる端末を指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている端末のMACアドレスが表示されています。

ここで、接続可能にする端末のMACアドレスのみを「登録」をクリックして登録します。

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

登録リスト

MACアドレス	操作
MACアドレスが登録されていません	

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XX-XX-XX-XX-XX-XX	<input type="button" value="登録"/>

「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない端末を登録する場合は、「登録するMACアドレス」欄に接続する端末のMACアドレスを入力し、「新規追加」をクリックします。

登録できるMACアドレスは64個までです。MACアドレスを入力するときは、以下の書式で入力してください。

例: 12:34:56:78:90:AB (コロン区切り)
12-34-56-78-90-AB (ハイフン区切り)
12-34-56-78-90-AB (区切りなし)

5 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

MACアドレス	操作
XX:XX:XX:XX:XX:XX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
XX:XX:XX:XX:XX:XX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>

6 「制限する」にチェックを入れ、[設定]をクリックします。

無線パソコンの接続(11ac/n/a)	<input checked="" type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続(11n/g/b)	<input checked="" type="checkbox"/> 制限する

メモ: 本設定は無線の周波数帯(2.4 GHzまたは5 GHz)ごとに設定することができます。

7 「無線パソコンのMACアクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバー公開したりすることができます。

メモ:

- サーバーを公開する場合、固定グローバルIPアドレスの取得およびプロバイダーと別途契約が必要な場合があります。
- 手順はお使いの環境によって異なります。
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合は、以下を参照してください。
利用するポート番号が不明な場合は、後述の「利用するポート番号が不明な場合」を参照してください。

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

メモ: 本製品がルーターとして動作している場合にのみ、以下の設定が行えます。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」-「セキュリティ」-「ポート変換」をクリックします。

3 各項目を設定し、[新規追加]をクリックします。

ポート変換の新規追加		
グループ	新規追加 ▼ 新規追加 group1	
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス ▼ 手動設定: <input type="text"/>	
プロトコル	<input type="radio"/> すべて	
	<input type="radio"/> ICMP	
プロトコル	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号: <input type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	HTTP(TCPポート:80) ▼ 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート: <input type="text"/>
LAN側IPアドレス	192.168.11.210	
LAN側ポート	TCP/UDPポート: <input type="text"/>	
<input type="button" value="新規追加"/>		

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet側IPアドレス:

公開する各種サーバーの固定グローバルIPアドレスを設定します。インターネット側IPアドレスをPPPoEサーバーから取得している場合は各PPPoE接続先のインターネット側IPアドレスを設定します。手動設定を選択したときは、手動設定欄にIPアドレスを指定する必要があります。プロバイダーから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本製品のインターネット側IPアドレスに設定してあるアドレス以外のグローバルIPアドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベートIPアドレスを設定します。

LAN側ポート:

変換プロトコルでTCP/UDPを指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。

メモ: WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意のLAN側のWWWサーバーIPアドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet側IPアドレス:

[エアステーションのInternet側IPアドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDPを選択し、[HTTP(TCPポート:80)]を選択します。(任意のTCP/UDPポートは空欄)

LAN側IPアドレス/LAN側ポート:

LAN側IPアドレスは、サーバーIPアドレス(例:192.168.11.210)を入力します。LAN側ポートは、空欄にします。

4 設定内容が登録されていることを確認します。

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作
group1	エアステーションのInternet側IPアドレス 192.168.11.210	HTTP(TCPポート:80) HTTP(TCPポート:80)	OFF 修正 削除

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

メモ: 本製品がルーターとして動作している場合にのみ、以下の設定が行えます。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「詳細設定」-「セキュリティ」-「DMZ」をクリックします。
- 3 DMZのアドレスを設定し、「設定」をクリックします。

DMZのアドレス	192.168.11.210
※設定画面を表示している機器のIPアドレス[192.168.11.2]	

メモ:

- DMZのアドレスは、インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送されるLAN上のIPアドレスです。ここで設定されたIPアドレスの端末でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。
- ポート変換の設定でDMZのアドレスと異なるLAN側IPアドレスを設定した場合は、ポート変換側の設定が優先されます。
- DMZを使用する場合は、端末側のIPアドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- 使用するソフトや契約しているプロバイダーによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- DMZに設定した端末は、他のパソコンに比べてセキュリティが低下するため、重要なデータなどをその端末に保存しないことをおすすめします。
- 安全のため、ファイアウォールの設定画面で、「NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する」を有効にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

当社ホームページに掲載しているエアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更することができます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合

メモ:

- エアステーション設定ツールがインストールされていない場合は、第2章の「エアステーション設定ツールのインストール」を参照してください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面からも変更できます。

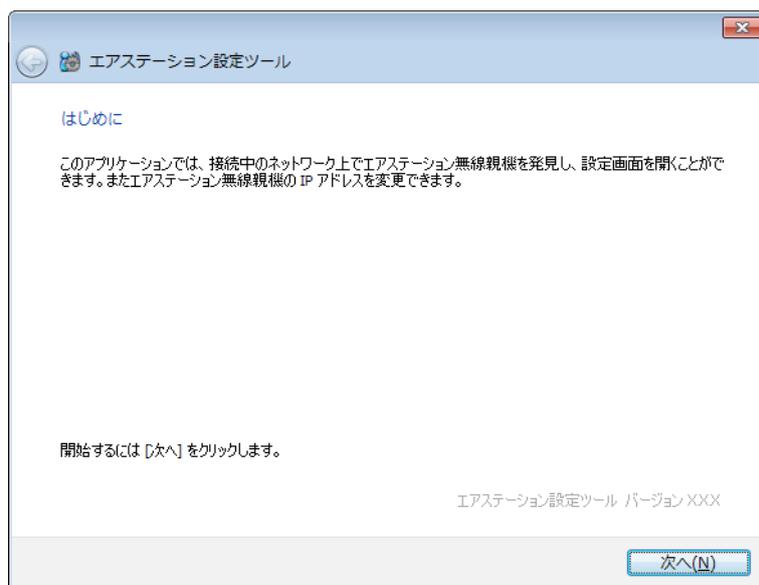
1 エアステーション設定ツールを起動します。

Windows 10の場合は、左下のWindowsアイコンをクリックしてスタートメニューを開き、[すべてのアプリ] – [BUFFALO] – [エアステーションユーティリティ] – [エアステーション設定ツール]を選択します。

Windows 8.1の場合は、「スタート」画面にある[エアステーション設定ツール]を選択します。

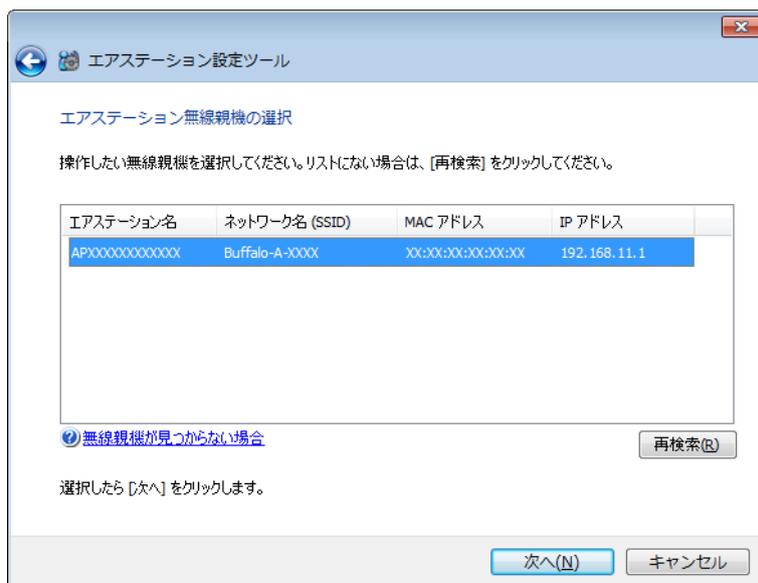
Windows 7/Vistaの場合は、[スタート] – [すべてのプログラム] – [BUFFALO] – [エアステーションユーティリティ] – [エアステーション設定ツール]を選択します。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

エアステーション設定ツール

無線親機の IP アドレス設定

無線親機の新しい IP アドレスを入力してください。

DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する(かんたん)(D)

※ 無線親機の ROUTER ランプが点灯している場合(ルーター機能有効時)は、この設定にはできません。

次の IP アドレスを使う(上級者・管理者向け)(S)

IP アドレス(U) [設定方法](#)

サブネットマスク(U)

※ 無線親機の ROUTER スイッチが「AUTO」に設定されていて、かつ、ROUTER ランプが消灯している場合(ルーター機能無効時)は、この設定にはできません。

※ 参考情報 - このパソコンの IP アドレス:
192.168.11.2 / 255.255.255.0 : ローカル エリア接続 (Intel(R) 82579V Gigabit Network)

[次へ] をクリックすると、設定内容が無線親機に反映されます。

次へ(N)

メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックしてください。

6 本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[次へ]をクリックします。

エアステーション設定ツール

設定中

この無線親機には、管理パスワードが設定されています。

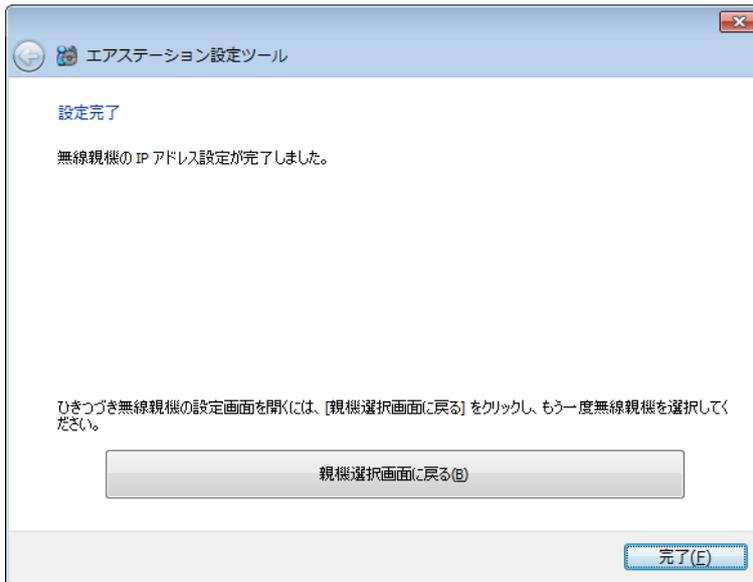
無線親機の管理パスワードを入力してください。

管理パスワード(P) 入力文字列を表示(U)

出荷時の設定は、無し(空欄)または「password」です。

次へ(N)

7 [完了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

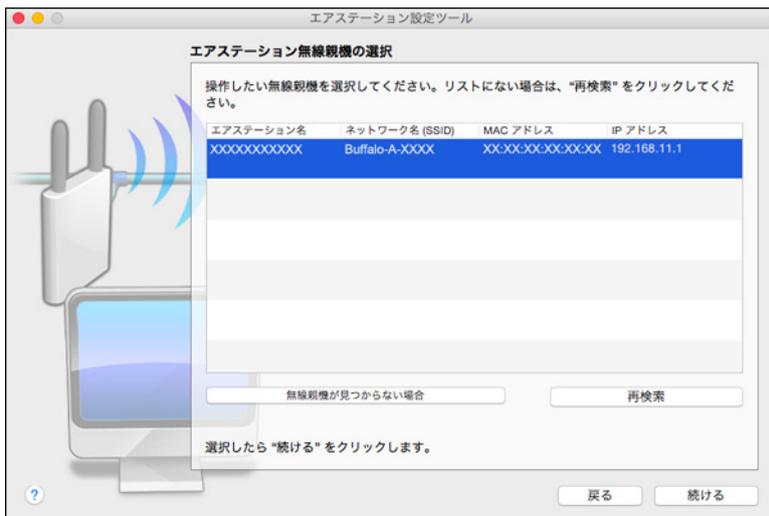
Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、OS X 10.10の場合を例に説明します。

- 1 当社ホームページからダウンロードしたエアステーション設定ツールを実行します。
- 2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、「続ける」をクリックします。



メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して「続ける」をクリックします。



メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、「無視して続ける」をクリックしてください。

- 6 本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[続ける]をクリックします。



- 7 [終了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

フレッツ回線向けの設定をする(PPPoEマルチセッション)

本製品のPPPoEマルチセッション機能を使用して、1つの回線契約でプロバイダーとフレッツ回線向けサービス情報サイトに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。

メモ:

- ・ NTT東日本向けフレッツ・スクウェアは、2011年6月1日より、「サービス情報サイト」に名称が変更されました。
- ・ NTT西日本向けフレッツ・スクウェアは、2011年12月28日をもってサービス終了となりました。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

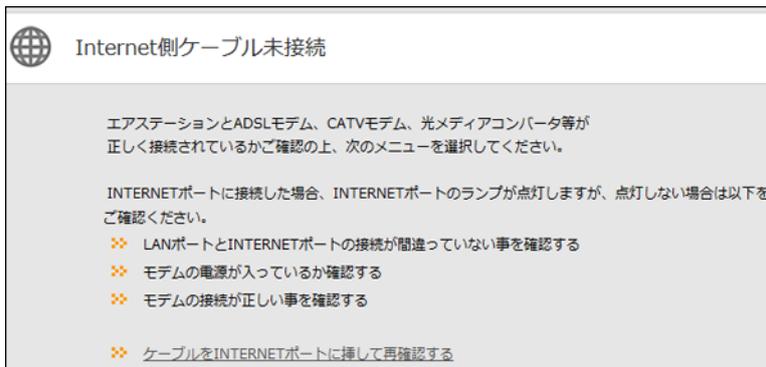
2 本製品背面のINTERNET端子(青色の端子)からLANケーブルを取り外します。

3 設定画面右上のに×マークが付くことを確認します。

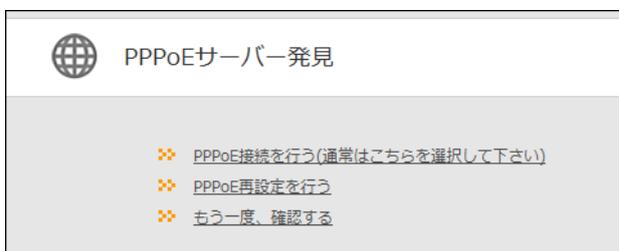


4  をクリックします。

5 手順2で抜いたLANケーブルを、もう一度本製品背面のINTERNET端子(青色の端子)に接続し、「ケーブルをINTERNETポートに挿して再確認する」をクリックします。



6 「PPPoE再設定を行う」をクリックします。



7 お使いの回線の種別に合わせて「プロバイダー情報の設定」を選択します。

フレッツ 光ネクストをお使いの方は「フレッツ 光ネクスト」を、それ以外の回線をお使いの方は、「Bフレッツ/フレッツ・ADSL」を選択してください。



- 8 「フレッツ 光ネクストサービス情報サイト」欄(フレッツ 光ネクスト用)または「サービス情報サイト」欄(Bフレッツ/フレッツ・ADSL用)で、「NTT東日本」または「NTT西日本」を選択し、[進む]をクリックします。

プロバイダー情報の設定(フレッツ)

プロバイダー情報の設定

Bフレッツ/フレッツ・ADSL
 フレッツ 光ネクスト

接続先ユーザー名

XXXXXXXXXX XXXX.XXXX.XXXX

接続先パスワード

●●●●●●●●

パスワードを表示する

DNS(ネーム)サーバーアドレス
※プロバイダーより指定がある場合のみ

プライマリー:

セカンダリー:

サービス情報サイト
※フレッツ回線をお使いの場合のみ

NTT東日本

ブロードバンド映像サービス/IP電話サービス
※フレッツIPv6サービスをお使いの場合のみ

利用する (現在の設定: 利用する)
※IPv6に対応していない回線でこの機能を使用すると、セキュリティを損なう危険性があります。
必要のない場合は「利用しない」を選択してください。

電力系光通信(イオ、ビビック、コムファなど)のPPPoE接続設定を行う場合は「こちら」をクリックしてください。

戻る 進む

メモ: NTT西日本のサービスが終了しているため、「サービス情報サイト」欄では、「NTT西日本」は選択できません。

- 9 「接続成功です」と表示されたら、[設定完了]をクリックします。

接続確認

ケーブル OK PPPoEサーバー OK 名前解決 OK

接続成功です!
Airstationの設定は完了しました。

上の枠内に「接続成功です」と表示されないときは、こちらで現象を確認してください。

戻る 設定完了

- 10 Webブラウザを起動します。

- 11 Bフレッツ/フレッツ・ADSLをご契約の方は、アドレス欄に「www.flets」と入力して、Enterキーを押します。

フレッツ 光ライト/フレッツ 光ネクストをご契約の方は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」(NTT東日本向け)または「v4flets-west.jp」(NTT西日本向け)と入力して、Enterキーを押します。



- 12 サービス情報サイトが表示されます。

以上で設定は完了です。

ルーター機能を停止する

本製品のルーター機能を使用しないで、アクセスポイントとして使用する場合は、以下の手順で行います。

メモ:

本製品のルーター機能をオフにすると、本製品のIPアドレスが「192.168.11.100」に変更されます。また、以下の機能が無効になりますのでご注意ください。

- DHCPサーバー (IPアドレス自動割当) 機能
- 静的IPマスカレード (アドレス変換) 機能
- パケットフィルター機能
- PPPoEマルチセッション機能

1 本製品背面のROUTER/APスイッチを「AP」側に設定し、ROUTERランプが消灯することを確認します。

2 本製品に接続している端末を再起動します。

以上で設定は完了です。

本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認できます。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」をクリックします。

3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	XXX-XXXXXX Version X.XX (RX.XX/BX.XX-X)
エステーション名	APXXXXXXXXXXXX

メモ: 製品名欄の「Version x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

本製品のファームウェアを更新する

本製品のファームウェアの更新設定は、2つの方法があります。

自動的に更新する場合

新しいファームウェアが公開された際に自動的に更新する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」-「管理」-「ファームウェア更新」をクリックします。

- 3 ファームウェア自動更新機能で「常に最新版に更新する」と更新時刻を設定し、[設定]をクリックします。

[拡張設定]	
	
ファームウェア自動更新機能	常に最新版に更新する
現在時刻	2016年 1月 1日 (金曜日) 00:05 現在の状態を表示
更新時刻	毎日 4:00-4:59
設定	

メモ:

- 本製品の時刻設定が正しくない場合(画面に  が表示されている場合)は、「管理」-「システム設定」の画面でNTP機能を「使用する」に設定してください。
- ファームウェア更新中は、再起動などにより、本製品に接続している機器が一時的に切断されます。そのため、更新時刻は、本製品を使用していない時間帯に設定することをお勧めします。
- 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(POWERランプが橙色に点滅中)は、本製品の電源をオフにしないでください。

以上で設定は完了です。

設定後に新しいファームウェアがリリースされた場合、上記で設定した時間帯に更新が行われます。

手動で更新する場合

本製品をお使いの方が、お好みのタイミングでファームウェアを更新したい場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「詳細設定」-「管理」-「ファームウェア更新」をクリックします。
- 3 ファームウェアを更新します。

ファームウェアファイルがある場合は、[参照]をクリックしてファームウェアファイルを選択し、[更新実行]をクリックします。

ファームウェアファイルがない場合は、「オンラインバージョンアップ」を選択し、[更新実行]をクリックして画面の指示に従ってください。

ファームウェアバージョン	WCR-1166DS Ver. X.XX
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	C:\BUFFALO#wcr-1166ds\ 参照...
更新実行	

メモ: 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(POWERランプが橙色に点滅中)は、本製品の電源をオフにしないでください。

以上で設定は完了です。

第4章 各種ソフトウェアの使いかた

本章では、本製品に対応した各種ソフトウェアの使いかたについて説明します。

エアステーション設定ツールの使いかた

エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面の表示や本製品のIPアドレスを変更できるソフトウェアです。ご使用方法は、本書の以下の項目を参照してください。

設定画面の表示 (Windows) :

第2章の「設定画面を表示する」の「Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合」

設定画面の表示 (Mac) :

第2章の「設定画面を表示する」の「Mac OS Xをお使いの場合」

IPアドレスの設定 (Windows) :

第3章の「本製品のIPアドレスを変更する」の「Windows 10/8.1/7/Vistaをお使いの場合」

IPアドレスの設定 (Mac) :

第3章の「本製品のIPアドレスを変更する」の「Mac OS Xをお使いの場合」

第5章 困ったときは

インターネットにつながらない

原因1 動作モードの設定が間違っている

動作モードの設定が間違っていることが考えられます。

本製品をルーターとして動作させる場合は、背面のROUTER/APスイッチを「ROUTER」側にして、ROUTERランプが緑色に点灯するのを確認してください。

原因2 プロバイダーから提供された機器の電源が入っていない

プロバイダーから提供された機器と本製品がLANケーブルで正しく接続されているにもかかわらずインターネットに接続できない場合は、電源が入っているか確認してください。

原因3 インターネットに接続しようとする端末が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする端末と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ:

- エアステーション設定ツールの使いかたは、本書の第4章の「エアステーション設定ツールの使いかた」を参照してください。
- 無線での接続方法は、製品添付の取扱説明書を参照してください。

原因4 インターネットの設定が間違っている

製品添付の取扱説明書を参照して、インターネットの設定をやり直してください。

無線接続が切れる/不安定

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品の電源をオフにして、もう一度オンにしてください。

原因2 本製品と端末との距離が遠い

本製品と端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4 GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になる場合があります。

それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4 GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

原因4 本製品のファームウェアが古い

上記1～3の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続いたりする場合は、本製品のファームウェアを最新版に更新してください。

原因5 端末のドライバーが古い

上記1～4の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続いたりする場合は、端末のドライバー(ソフトウェア)を最新版に更新してください。

無線でつながらない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品の電源をオフにして、もう一度オンにしてください。

原因2 本製品と端末との距離が遠い

本製品と端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 セキュリティソフトが動作している

端末にウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、無線接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティソフトを終了して、無線接続設定を完了させてからセキュリティソフトを起動してください。

原因4 無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。製品添付の取扱説明書を参照して、接続してください。

原因5 本製品にANY接続拒否やMACアクセス制限の設定がされている

本製品にANY接続拒否の設定がされていると、無線機器から検索しても本製品が表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

本製品にMACアクセス制限の設定がされていると、そのままでは本製品に無線接続できません。端末のMACアドレスを本製品に登録してから無線接続してください。

AOSSで無線接続できない

AOSSに対応した端末(テレビ、レコーダー、ゲーム機。その他携帯端末など)のうち、一部の端末では、AOSSで本製品に無線接続できないことがあります。

その場合は、WPS(プッシュボタン式)で接続するか、お使いの端末から本製品を検索して無線接続してください。

WPS(プッシュボタン式)で接続する場合

- 1 お使いの端末の無線接続設定画面を表示します。
- 2 WPS(プッシュボタン式)を選択して、接続を開始します。
- 3 本製品前面のAOSS/WPSボタンを約1秒間押します。
- 4 しばらくすると、お使いの端末と本製品の無線接続が完了します。

お使いの端末から本製品を検索して接続する場合

- 1 お使いの端末の無線接続設定画面を表示します。
- 2 お使いの端末から接続先を検索し、セットアップカードに記載のSSIDと同じ値を選択します。
- 3 パスワードの入力画面が表示されたら、セットアップカードに記載の暗号化キーを入力します。
- 4 しばらくすると、お使いの端末と本製品の無線接続が完了します。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品の電源をオフにして、もう一度オンにしてください。

原因2 設定用端末が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする端末と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ:

- エアステーション設定ツールの使いかたは、本書の第4章の「エアステーション設定ツールの使いかた」を参照してください。
- 無線での接続方法は、製品添付の取扱説明書を参照してください。

無線での通信が遅い

原因1 本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4 GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になり、通信速度が低下する場合があります。

それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4 GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

原因2 倍速設定が無効になっている

本製品の2.4 GHz(11n/g/b)の倍速設定は、出荷時の状態で無効に設定されています。倍速設定を有効に設定することで、無線での通信速度が速くなる場合があります。

メモ:

- 本製品の設定だけでなく、お使いの端末の設定も必要になる場合があります。
- 倍速設定は、通常(20 MHz)以上の帯域を使って通信します。2.4 GHz帯を使用する機器が周囲に多くあり、電波環境が悪い場合は、通信速度が向上しないことがあります。

「ひかりTV」などのサービスを受けられない

「ひかりTV」など、プロバイダーが提供している一部のサービスを受けるには、本製品で「フレッツIPv6サービス対応機能」を設定する必要があります。以下の手順で設定を行ってください。

メモ:

- フレッツIPv6サービス対応機能を使用すると、インターネット側から本製品に接続している端末にアクセスすることができる場合があります。本製品に接続している端末のセキュリティー設定を確認した上でご使用ください。
- IPv6サービスのセキュリティーについては、ご契約の回線事業者へお問い合わせください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して本製品の設定画面を表示します。

2 [詳細設定] - [セキュリティー] - [VPN/パススルー]をクリックします。

3 フレッツIPv6サービス対応機能で「使用する」に設定し、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、底面のRESETボタンをPOWERランプが緑色に点滅するまで(約3秒間)押し続けてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

本製品の電源を切るとループが検知される

一部のループ検知機能を搭載したHubでは、本製品の電源を切るとループが誤検知される場合があります。本製品の電源を入れてループが検知されなくなる場合は、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

第6章 付録

製品仕様

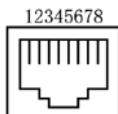
無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11ac / IEEE 802.11n / IEEE 802.11a / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T71 (IEEE 802.11ac / IEEE 802.11a) ARIB STD-T66 (IEEE 802.11g / IEEE 802.11b) (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
周波数範囲(中心周波数)	IEEE 802.11ac / IEEE 802.11a: W52 36/40/44/48 ch (5180~5240 MHz) W53 52/56/60/64 ch (5260~5320 MHz) W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 ch (5500~5700 MHz) IEEE 802.11g / IEEE 802.11b: 1~13 ch (2412~2472 MHz) 基本的に携帯電話、コードレスフォン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が、2.4 GHz帯の無線を使用する場合や電子レンジが動作している場合は、電波干渉によって通信障害が発生する可能性があります。
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
セキュリティ	AOSS、WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(AES)、WPA/WPA2 mixed PSK(TKIP/AES mixed)、WEP(128 bit / 64-bit)、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限

802.11acデータ転送速度 (オートセンス)	IEEE 802.11ac 20 MHz BW <Long GI>: 156/130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 78/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 20 MHz BW <Short GI>: 173.3/144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 86.7/72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 40 MHz BW <Long GI>: 360/324/270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 180/162/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 40 MHz BW <Short GI>: 400/360/300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 200/180/150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 80 MHz BW <Long GI>: 780/702/585/526.5/468/351/234/175.5/117/58.5 Mbps (2 stream) 390/351/292.5/263.3/234/175.5/117/87.8/58.5/29.3 Mbps (1 stream) IEEE 802.11ac 80 MHz BW <Short GI>: 866.7/780/650/585/520/390/260/195/130/65 Mbps (2 stream) 433.3/390/325/292.5/260/195/130/97.5/65/32.5 Mbps (1 stream)
802.11n/a/g/bデータ転送速度 (オートセンス)	IEEE 802.11n 20 MHz BW <Long GI>: 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 streams) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 20 MHz BW <Short GI>: 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 streams) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz BW <Long GI>: 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 streams) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz BW <Short GI>: 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11a / IEEE 802.11g: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11b: 11/5.5/2/1 Mbps
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3u (100BASE-TX) / IEEE 802.3 (10BASE-T)
データ転送速度	10/100 Mbps (自動認識)
データ伝送モード	半二重/全二重 (自動認識)
伝送路符号化方式	4B5B/MLT-3 (100BASE-TX) / マンチェスターコーディング (10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	100 BASE-TX / 10 BASE-T 兼用端子 (AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 50/60 Hz
消費電力	7.1 W (最大)
外形寸法	109 (W) x 110 (H) x 50 (D) mm (本体のみ)
重量	139 g (本体のみ)
動作環境	0 ~ 40 °C、10 ~ 85 % (結露しないこと) 本製品は屋内使用に限ります。

端子仕様

LAN端子/Internet端子仕様

端子形状 (RJ-45型8極端子)



100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ(+)/送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)/送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)/受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)/受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

メモ: ※ AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	—
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	—
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
PPPoE	デフォルトの接続先	未設定
	PPPoE接続先リスト	未設定
	接続先経路の表示	未設定
アドレス変換	アドレス変換	使用する
LAN	LAN側IPアドレス	IPアドレス: 192.168.11.1 サブネットマスク: 255.255.255.0
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.11.2から64台
	拡張設定	表示しない
	リース期間	48時間
	デフォルトゲートウェイの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーの通知	通知しない
ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名	

機能	パラメーター	出荷時設定
DHCPリース	リース情報	未設定
経路情報	経路情報	—
2.4 GHz(11n/g/b) 5 GHz(11ac/n/a)	無線機能	使用する
	無線チャンネル	自動
	倍速モード	2.4 GHz: 144.4 Mbps (20 MHz)、拡張チャンネルは自動設定 5 GHz: 866 Mbps (80 MHz)
	ANY接続	許可する
	SSID 1	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-PSK
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK (事前共有キー)	製品付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	SSID 2	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	WEP暗号化キー設定	未設定
	BSS BasicRateSet	2.4 GHz: 1, 2, 5.5, 11 Mbps 5 GHz: 6, 12, 24 Mbps
	Multicast Rate	2.4 GHz: 1 Mbps 5 GHz: 6 Mbps
	802.11nプロテクション	使用しない
	DTIM Period	1
	送信出力	100 %
WPS	WPS機能	使用する
	外部Registrar	要求を受け付ける
	エアステーションPINコード	製品固有の8桁のPINコードが設定済み
	EnrolleeのPINコード	空欄
	WPS用無線セキュリティー設定	WPSステータス: Configured セキュリティー: WPA2-PSK AES SSID/暗号鍵: 製品付属のセットアップカードに記載の値
AOSS	AOSS状態	AOSS 無効
	WEPをゲーム専用にする	使用しない
	本体側AOSSボタン	使用する
MACアクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない
	登録リスト	未登録
マルチキャスト制御	Snooping機能	使用する
	マルチキャストAging Time	300秒

機能	パラメーター	出荷時設定
ファイアウォール	ファイアウォール設定	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 無効 IDENTの要求を拒否する 有効 Internet側からのPINGに応答しない 有効
IPフィルター	IPフィルター登録情報	未設定
VPNパススルー	フレッツIPv6対応機能	使用しない
	PPPoEパススルー	使用しない
	PPTPパススルー	使用する
ポート変換	ポート変換登録情報	未設定
DMZ	DMZのアドレス	未設定
UPnP	UPnP機能	使用する
システム設定	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
	管理パスワード	password
	無線LANからの設定を禁止する	無効
	有線LANからの設定を禁止する	無効
	Internet側リモートアクセス設定を禁止する	無効
	NTP機能	使用する
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
	日付	2016年1月1日
	時刻	0時0分0秒
	タイムゾーン	(GMT + 09:00) 東京、大阪、ソウル
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	未設定
	転送するログ情報	アドレス変換、IPフィルター、ファイアウォール、PPPクライアント、ダイナミックDNS、DHCPクライアント、DHCPサーバー、AOSS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク、システム
	詳細なログ取得	取得しない
ファームウェア更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄
	ファームウェア自動更新機能	重要な更新のみ行う
	更新時刻	毎日 4:00~4:59

コントロールパネルの表示方法

Windowsのコントロールパネルの開き方は、OSによって異なります。以下の手順で開いてください。

Windows 10の場合

- 1 タスクバー上のWindowsロゴ(スタート)をクリックして表示されるメニューから、[Windowsシステムツール]ー[コントロールパネル]を選択します。

Windows 8.1の場合

- 1 デスクトップ画面を表示させます。
- 2 画面右下隅にポインターを移動させ、そのまま上方向に移動させるとチャームが表示されるので、[設定]をクリックします。
- 3 [コントロールパネル]をクリックします。

Windows 7/Vistaの場合

- 1 「スタート」メニューから、[コントロールパネル]を選択します。

IPアドレスの固定方法

Windows 10/8.1の場合

- 1 [コントロールパネル]を選択します。
メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。
- 2 ネットワーク接続の画面を表示します。
(ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)
- 3 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
- 4 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows 7の場合

1 コントロールパネルを表示します。

メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

2 ネットワーク接続の画面を表示します。

(ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)

3 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows Vistaの場合

1 コントロールパネルを表示します。

メモ: コントロールパネルの表示方法は、上記「コントロールパネルの表示方法」を参照してください。

2 ネットワーク接続の画面を表示します。

(ネットワークと共有センターの「ネットワーク接続の管理」をクリックします)

3 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

4 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ デフォルトゲートウェイは空欄
- ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
- ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xの場合

1 システム環境設定を表示します。

2 ネットワークをクリックします。

3 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「Ethernet」を選択します。

4 IPv4の設定で「手入力」を選択します。

5 以下のように設定して、[適用]をクリックします。

- ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
- ・ IPアドレス「192.168.11.135」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ ルーターは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、IPv4の構成で「DHCPサーバを使用」を選択して、[適用]をクリックしてください。

以上で設定は完了です。

著作権・免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計・製造されています。日本国外での使用における故障・不具合についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
- 本書に記載された責任は、日本国内においてのみ有効です。